

2018. 9. 14 作成（文責：江田）

ビジネスプロデュース力養成ワークショップ
第5回ワークショップ 振り返りレポート

VIPS2018

◎第5回ワークショップ

日 時：2018年9月14日（金）10：00～17：30

会 場：遠鉄百貨店新館13階 第5会議室

内 容：グループワークのテーマ設定、メンバー勧誘のピッチ、説得力



（1）最初に事務局より、開会のあいさつと、事務連絡がありました。本日参加する稲田講師が紹介されました。

（2）江田講師により本日の進め方について、話がありました。

今回のVIPS2018はグループワークを進めるため、そのテーマを募るもの。募るために何が大事なのかを、これまでの4回で検討してきました。ヒトを集めるためのピッチが本日の午後の目標です。

質問：選ばれなかったテーマはどうなりますか。

応答：グループワークの時間内に話題を出してはどうでしょうか。講師は個別に相談にのります。

(3) 稲田講師より、企業の事例について、スライドを用いて講演がありました。

- ・ 営業再構築の流れとして、日曜日に手弁当で勉強会が始まり、数十人が参加
- ・ 勉強会の成果として、用語集の本を作成
- ・ 方向は、会社に提案していくプロジェクトとした。
- ・ うまくいってくると、足を引っ張ることが出てくるので、事前に相談しておくこと（根回し）は重要
- ・ ありえないと言われていたものがその年のヒットに
- ・ 女子社員の発案で「聞いてない撲滅キャンペーン」のシールを作成
- ・ 売れるわけがないと言われていたものがヒットすることも
- ・ 上司は、結果が出るまでストップさせないことが大事。やる気がそがれてしまうから。

(4) 溝井講師より、中小製造業の連携に関して、スライドを用いた講演がありました。

- ・ 江戸っ子1号の事例、深海無人探索機として、日本海溝に潜行、その経緯について、詳細に紹介
- ・ チームビルディングに関する「タックマンモデル」の説明があり、組織形成理論であり、次の5つのフェーズ（形成期、混乱期、統一期、機能期、散会期）とそれぞれの概要を例示
- ・ 江戸っ子1号について、タックマンモデルを参考にして、成功要因の議論
- ・ 創造（クリエイション）＋行動（アクション）の造語「クリアクション」の概念を紹介
- ・ 良いアジェンダを持って、ヒトに話をしていくことが重要

(5) 昼食後、高谷講師よりスライドを用いて、午後の発表のガイダンスがありました。ピッチプレゼンの意図は、「実現に向けて一緒にやろう！」という協働者を募ること。どのような人が、なぜ必要かを主張する必要があります。

(6) ガイダンスを受けて、それぞれ本日のピッチの準備を進めました。

(7) 江田講師より、スライドを用いずに、ピッチについてのガイダンスがありました。ピッチの時間は、発表3分間、質疑応答2分間。発表順番は、参加者全員の番号を書いたカードを袋に入れ、発表者が次の発表者のカードを引くこととし、一人目は事務局側でカードを引く。全員が、最終発表者を除いて、いつ自分の発表順番になるかが分かりません。また、決定方法については、一人が3票として、自分が参加したいテーマに投票することが示されました。判断基準は様々な視点があるが、○△×の三段階くらいで評価する。

(8) 一人ずつ、全員に向けてピッチを行いました。ピッチの終了後、一人ずつ3つのテーマを選択し投票しました。

(9) 投票の結果がホワイトボードに示されました。1票のみの得票を除くと、5件が残りました。1票のみ得票は自分で投票しているかもしれず、他者の賛同を得られなかったと判断。次に、残った5件について、改めてピッチと質疑応答を行いました。このピッチは内容の紹介というよりは、人を集めることが目的。その2度目のプレゼンに対して、一人1票として、5件のうちのどれかを選んで投票しました。

・第1の投票結果（1人3票）と、選別された5件に対する第2の投票結果（1人1票）の和を計算し、上位から3件を選びました。選ばれたものは、3者（2018-03、2018-07、2018-20）による提案でした。これらがグループテーマとして決定されました。

(10) グループテーマの決定を受けて、参加者全員がどのテーマに参加するかを決めて席を移動しました。本日の欠席者に、結果を伝えて3グループのいずれかに入ってもらうこととなります。

(11) 講師からコメントがありました。

- ・溝井講師から、全体として WHY が弱いことを指摘
- ・稲田講師から、なぜ変わらなければならないのかを主張する必要がある、政府統計 e-Stat が役に立つことが紹介
- ・江田講師から、すべてのことから学んでほしい、なぜこのテーマが選ばれたかを今のタイミングで考えることが重要。個人の内容は8回目で振り返るので、個人のテーマは持ち続けてほしいと思います。
- ・高谷講師から、議論にはホワイトボードを積極的に利用して、議論の記録を残すことの重要性が指摘されました。

(12) 各自がチェックアウトシートを書いて提出しました。

(13) 欠席者対応などの目的で、ゼミナール（補講）を希望する人は事務局まで申し出てほしいことが案内されました。基本的にゼミナールは、VIPS 前日の木曜日 17:30 以降に、静岡大学浜松キャンパス内のフォトンバレーセンターにて行います。

VIPS 全8回を終えた後に、VIPS 報告会の開催が検討中であることが案内されました。日程は11月中を想定。日程、場所は決定次第連絡します。

以上を終えて、第5回のワークショップを終了しました。



2018/9/14 (金) 開催

ビジネスプロデュースカ養成ワークショップ（通称：VIPS2018） 第5回

遠鉄百貨店新館13F 第5会議室

【テーマ】グループワークのテーマ設定

(敬称略)

事務局：坪井秀次、山際美紀 サポーター：岡田晃行、木村祐一

タイムテーブル	内容	担当
10:00 ~ 10:10	事務局連絡	事務局
10:10 ~ 10:30	前4回の振り返り、本日の着地点	江田講師
10:30 ~ 11:00	話題になっているエリア、サービス、商品の事例 1	稲田講師
11:00 ~ 11:30	話題になっているエリア、サービス、商品の事例 2	溝井講師
11:30 ~ 12:30	昼休み	
12:30 ~ 13:00	魅力とは何か・ワークのガイダンス	高谷講師
13:00 ~ 13:30	個人ワーク	受講者
13:30 ~ 14:00	ピッチのガイダンス	江田講師
14:00 ~ 15:30	グループメンバーを募るピッチ	全員に向けて
15:30 ~ 15:45	休憩	
15:45 ~ 17:00	グループメンバーとテーマ決定	グループ決定
17:00 ~ 17:20	総括コメント	全講師
17:20 ~ 17:30	チェックアウト	事務局